

平成29年度オーガニック・エコ農産物安定供給体制構築事業
 (新規参入・定着等促進支援事業) 報告書
 (平成30年3月 NP0法人有機農業参入促進協議会) 57~66ページ

(12) 参入に繋がった事例

新規に参入した 27 事例、慣行栽培から転換参入した 6 事例、法人に就職した 2 事例、計 35 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、すべての事例で就農前に農家、法人などで研修を受けたり、事前に有機栽培について学んでいた。相談のきっかけは、新・農業人フェアなど就農相談会が 8 件で普及センターなどの公的機関や民間窓口に直接訪ねる事例も多く見られ、有機農業が盛んな役場に直接連絡する事例もあった。

新規参入に繋がった事例のうち、農業次世代人材投資資金など公的資金の受給者が 7 事例あった。

転換参入に繋がった事例の参入のきっかけには、セミナーへの参加が 1 件、普及センターなどへの問い合わせが 4 件あった。

新規就農事例 1

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東北	男	27	無	無	農業従事者	無	野菜作	88	88

研修内容など 農の雇用制度を利用してホウレンソウの栽培を学ぶ

相談のきっかけ 役場からの相談

参入に繋がった理由 月 1 回のペースで 4 回相談し、就農・資金計画を話し合う。農地・住居が確保でき、就農した。

参入後の状況 未記入

新規就農事例 2

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	31	有	2	会社員	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など JA が運営する研修制度を利用

相談のきっかけ 相談会に参加

参入に繋がった理由 支援制度を利用

参入後の状況

研修中の家を探すのが大変だった

新規就農事例 3

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	45	無	2	会社員	500	野菜作	100	100

研修内容など

有機農業団体が開催する週末講座に通って、学びながら営農を開始。他は独学

相談のきっかけ

週末講座の存在を知って相談に来る

参入に繋がった理由

週末講座で学び、農地は独立で借りる

参入後の状況

就農後も講座に通っているので、随時相談に応じている

新規就農事例 4

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	34	有	3	自営業	不明	野菜作	50	不明

研修内容など

県有機農業アドバイザーのもとで研修

相談のきっかけ

普及センターで農業次世代人材投資資金（準備型）の給付申込みについて相談

参入に繋がった理由

研修体制があり、農地が確保できたため

参入後の状況

県有機農業アドバイザー、普及指導員が支援

新規就農事例 5

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	24	有	1	不明	不明	野菜作	50	50

研修内容など

他県および県内市町の有機農業者のもとで2年間研修。品目は、露地野菜、水稻など。農業次世代人材投資資金（準備型）を活用

相談のきっかけ

普及センターに県内での有機農業研修受入農家について相談

参入に繋がった理由

新規参入のため、農地の確保および青年等就農計画作成について、就農予定市担当者等関係機関と連携しつつ継続して相談に対応

参入後の状況

農業次世代人材投資資金（準備型）受給者のため、普及センターおよび就農した市が支援を継続

新規就農事例 6

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	21	無	無	会社員	100	畑作	50	50

研修内容など

有機農家での研修を1年間。市、県の支援を受ける。窓口と連携して行う

相談のきっかけ

新・農業人フェアでの相談

参入に繋がった理由

販路が確保されている。市、県のバックアップあり。窓口と連携して行ったため

参入後の状況 販売先、技術を共有

新規就農事例 7

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	45	無	1	不明	250	野菜作	70	70

研修内容など 有機農家で栽培管理、出荷調整を学ぶ

相談のきっかけ 県農業会議への就農相談

参入に繋がった理由 県担い手育成総合支援協議会による新規就農支援会議

参入後の状況 町役場、JAによる学校給食などへの出荷支援、直売所運営委員会委員の協力

新規就農事例 8

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	女	39	不明	無	パート・アルバイト	不明	野菜作	25	25

研修内容など 市内の有機農家で露地野菜の研修。農業次世代人材投資資金（準備型）の受給

相談のきっかけ 県就農相談窓口、市町村就農相談窓口

参入に繋がった理由 農地の確保など、関係機関の連携がうまくいったため

参入後の状況 県普及指導員による指導

新規就農事例 9

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東海	男	20	無	無	会社員	不明	稻作、野菜作	不明	不明

研修内容など 有機農業研修施設

相談のきっかけ ウェブサイト、有機農業者との相談

参入に繋がった理由 有機農業者による技術的なアドバイスと役場による農地確保、移住面でのサポート

参入後の状況 有機農業推進協議会（複数の有機農業者などを構成員とする組織）が支援

新規就農事例 10

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東海	男	44	有	1	会社員	300	野菜作	30	30

研修内容など 相談窓口と連携している農家で研修（少量多品目栽培）。次世代就農支援金（準備型、経営開始型）

相談のきっかけ 相談窓口に相談

参入に繋がった理由 本人が真剣だったこと。自宅近くに相性のより研修先があった

参入後の状況

相談窓口の責任者として行政と連携した支援

新規就農事例 11

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東海	男	44	有	1	農業従事者	無	野菜作	45	45

研修内容など

農業次世代人材投資資金（準備型）認定研修機関で交付金を受けながら1年間の研修を受け、多品目野菜の栽培技術や苗生産技術を習得

相談のきっかけ

認定研修機関から研修希望者で農業次世代人材投資資金の交付希望者がいると連絡が入る。研修指導者に伴われ、農起業支援センターに訪れ、研修計画を提出

参入に繋がった理由

認定研修機関で研修を行い、技術を身に付けた。農地については、役場担当者の協力が得られて確保できた。地元の有力な農業法人に勤務経験があり、当該法人の経営者との関係も良好であったことも良かった

参入後の状況

就農市町からの支援があり、人・農地プランの担い手に位置付けられ、農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付を受けている。元研修先からは、中古農機具を無償で借受たり、販路の紹介を受けている。地域の農業者や農業改良普及センターの技術担当から栽培技術等に関する助言を受けている

新規就農事例 12

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
北陸	女	40	有	無	自営業	800	野菜作、畑作	58	58

研修内容など

海外研修、自家菜園

相談のきっかけ

市町村窓口

参入に繋がった理由

参入者の意欲、販路が既にあったこと（販売業時代の顧客）

参入後の状況

栽培技術および経営管理の研修会への参加誘導

新規就農事例 13

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	34	無	無	農業従事者	300	野菜作	10	10

研修内容など

有機農業の先進的経営体のもとで研修

相談のきっかけ

就農計画の作成相談のため、来所

参入に繋がった理由

1年間の取り組み実績をみて、市役所が農業次世代人材投資資金の交付を決定したことが参入の実現に繋がった。

参入後の状況

無記入

新規就農事例 14

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	25	無	無	パート・アルバイト	無	野菜作	70	70

研修内容など 有機農業団体で軟弱野菜およびハウス栽培を学ぶ

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 全面的なバックアップ

参入後の状況 有機農業団体が全面的にバックアップ

新規就農事例 15

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	34	無	無	自営業	無	野菜作	50	50

研修内容など 有機農業団体で軟弱野菜およびハウス栽培を学ぶ

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 技術取得のための研修、土地の取得、独立後の販売支援等の仕組みがしっかりしているから

参入後の状況 有機農業団体による販売支援

新規就農事例 16

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	45	有	1	会社員	650	野菜作	30	30

研修内容など 県の就農コースで1年間研修

相談のきっかけ 独立就農に向けて来所相談

参入に繋がった理由 就農前の実践研修により技術を身につけた。就農後は普及センター主催の就農セミナーに参加し、技術習得や仲間作りが図られた

参入後の状況 県の就農スタートアップ支援事業を活用し、地域の親方農家とのマッチングを図った

新規就農事例 17

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	38	有	3	会社員	75	野菜作	79	67

研修内容など 前職が有機農業団体職員で、野菜の品種改良をしていた

相談のきっかけ 無記入

参入に繋がった理由 農地・空き家を地元の農家が世話をした

参入後の状況 地元自治会長が中古農機具を貸してくれている

新規就農事例 18

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	50	有	無	会社員	不明	野菜作	22	不明

研修内容など 管内の有機農業実践農家に通いながら 1年間の研修を受けた

相談のきっかけ 田舎暮らしツアー参加後、移住。ツアーコースに有機農業実践農家を紹介

参入に繋がった理由 本人の移住意思も強く、田舎で農地や住宅の確保がしやすかった

参入後の状況 無記入

新規就農事例 19

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	37	無	無	不明	200	野菜作	15	15

研修内容など 市内の有機農家で、タマネギ、人参、バレイショなどの栽培を学ぶ

相談のきっかけ 無記入

参入に繋がった理由 無記入

参入後の状況 栽培技術面の支援（普及センター）

新規就農事例 20

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	男	41	有	無	会社員	不明	無記入	20	20

研修内容など 県の新規就農研修を活用し、先進農家のもとで研修。品目はトマト、コマツナなど

相談のきっかけ 相談会

参入に繋がった理由 有機農業での研修先があり、本人の意向と合致したため

参入後の状況 研修先の紹介により、農地を確保できた

新規就農事例 21

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	不明	不明	不明	無	不明	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など 指導農業士のもとで、有機野菜の栽培方法を学ぶ。普及センターで、農業の基礎知識を学ぶ

相談のきっかけ 就農相談バスツアー

参入に繋がった理由 研修による技術習得。施設（リースハウス制度）と農地の準備

参入後の状況 指導農業士の所属する生産者組織による販路開拓、技術支援。地元集落の農地斡旋。JA のリースハウス制度。市の定住住宅整備

新規就農事例 22

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	男	33	有	1	会社員	100	菌床シイタケ、野菜作、稻作	62	60

研修内容など 町内で有機農業を営む認定農業者のもとで研修。県の事業（12万円／月×12か月）を活用。

相談のきっかけ 自身の調べで有機農業が盛んな当地の役場に直接連絡

参入に繋がった理由 地域で有機農業が盛んなこと。県の小規模農業での支援制度があることなど

参入後の状況 研修受入農家および営農地住民ら

新規就農事例 23

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	男	25	有	無	無職	無	畑作	30	30

研修内容など 指導農業士のもとで研修（ケール他）。県・町の支援事業を利用

相談のきっかけ 新・農業人フェア

参入に繋がった理由 受入農家の技術・人柄

参入後の状況 市町の支援センターが関係機関一体となって支援

新規就農事例 24

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
四国	男	32	有	無	地域おこし協力隊	100	稻作、野菜作、畑作	20	20

研修内容など 県外より移住2年目。農地は農業委員会経由で借りた田畠で水稻と野菜を栽培。将来、無農薬での小麦栽培や農家民宿の開設を希望し、書籍などで勉強中。農用機械や栽培基礎については、地元生産者の協力・サポート有

相談のきっかけ 次世代人材投資事業（経営開始型）の利用について、役場を通じて相談があり、面接対応を行った。

参入に繋がった理由 相談者は、無農薬栽培や独自の加工・販売方法を模索、民宿開設等にこだわりがあったため、支援事業は利用しなかった。役場、普及センターは情報提供を中心とし、相談者自身のペースで技術の習得に努める

参入後の状況 支援事業関係資料の提供。地元生産者等から情報の聞き取りなど

新規就農事例 25

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
四国	男	30	有	無	公務員	不明	果樹	32	32

研修内容など 先進農家で露地柑橘を研修。公的支援として農業次世代人材投資資金（準

相談のきっかけ	備型)
参入に繋がった理由	元地域おこし協力隊 農業次世代人材投資資金（準備型）を活用し研修を行うことで技術を習得し、研修期間中に農地確保の準備を行うことができたため
参入後の状況	無記入

新規就農事例 26

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
九州	男	40	有	1	公務員	300	野菜作	48	48

研修内容など 長崎県技術習得支援研修（1年間）を受講。民間会社で10か月間研修。品目は、ダイコン、タマネギ、人参、バレイショ、ショウガ、ブロッコリー

相談のきっかけ 有機農業に興味があり、有機農業者および県の地方機関に相談

参入に繋がった理由 長崎県技術習得支援研修（1年間）を受講。民間会社で10か月間研修したこと

参入後の状況 技術、農地、中古機会などを受入農家（農業法人）が世話

新規就農事例 27

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
九州	男	43	有	無	会社員	不明	野菜作	80	不明

研修内容など 有機農業団体の研修制度を利用して研修

相談のきっかけ 就農相談会

参入に繋がった理由 研修

参入後の状況 研修受入農家によるアドバイス、農機具の賃借

転換参入事例 1

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東北	男	58	有	無	農業従事者	200	野菜作	480	80

研修内容など 有機農業団体の職員が指導

相談のきっかけ 有機農業推進団体の農場に来場

参入に繋がった理由 技術と販路の紹介

参入後の状況 販路のお世話

転換参入事例 2

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
東北	男	28	無	無	農業従事者	不明	稻作、野菜作	800	200

研修内容など	無記入
相談のきっかけ	直接の電話
参入に繋がった理由	法制度の説明
参入後の状況	無記入

転換参入事例 3

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	不明	有	1	パート・アルバイト	100	稻作	77	48

研修内容など	県内の農場（水稻、少量多品目野菜の栽培技術、販売方法等の研修）
相談のきっかけ	本人からの問い合わせ
参入に繋がった理由	研修を受けており、自作地が確保されていたため
参入後の状況	市町、県の指導機関、農業委員会の定期巡回を行い、経営技術の課題について相談対応

転換参入事例 4

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	23	無	4	不明	無	稻作	420	30

研修内容など	水稻栽培
相談のきっかけ	セミナーに参加
参入に繋がった理由	技術を伝えることができたため
参入後の状況	なし

転換参入事例 5

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
近畿	男	38	有	1	会社員	300	野菜作	89.2	89.2

研修内容など	親元で基本的技術を習得
相談のきっかけ	普及センターへの相談
参入に繋がった理由	有機農業で自分の考え沿った就農計画が樹立でき、目標所得が達成できることが明らかになったため
参入後の状況	現地での栽培技術指導。資金活用方法の説明。若手農業者との顔つなぎを行った

転換参入事例 6

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	男	不明	有	無	不明	不明	稻作	119	45

研修内容など	地域内有機農業者にて研修
--------	--------------

相談のきっかけ 無記入
 参入に繋がった理由 地域内の協力者の存在
 参入後の状況 無記入

農業法人への就職事例 1

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
関東	男	27	無	無	無職	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など 無記入
 相談のきっかけ 公的相談窓口へ問い合わせ
 参入に繋がった理由 無記入
 参入後の状況 無記入

農業法人への就職事例 2

地域	性別	年齢(歳)	配偶者	子供ほか(人)	前職	自己資金(万円)	参入後の農業形態	全農地面積(a)	有機面積(a)
中国	男	45	無	無	会社員	不明	野菜作、畑作	不明	不明

研修内容など なし
 相談のきっかけ 新・農業人フェア
 参入に繋がった理由 農業法人の求人があったから
 参入後の状況 なし